

Letters

Arpak

レターズアルパック

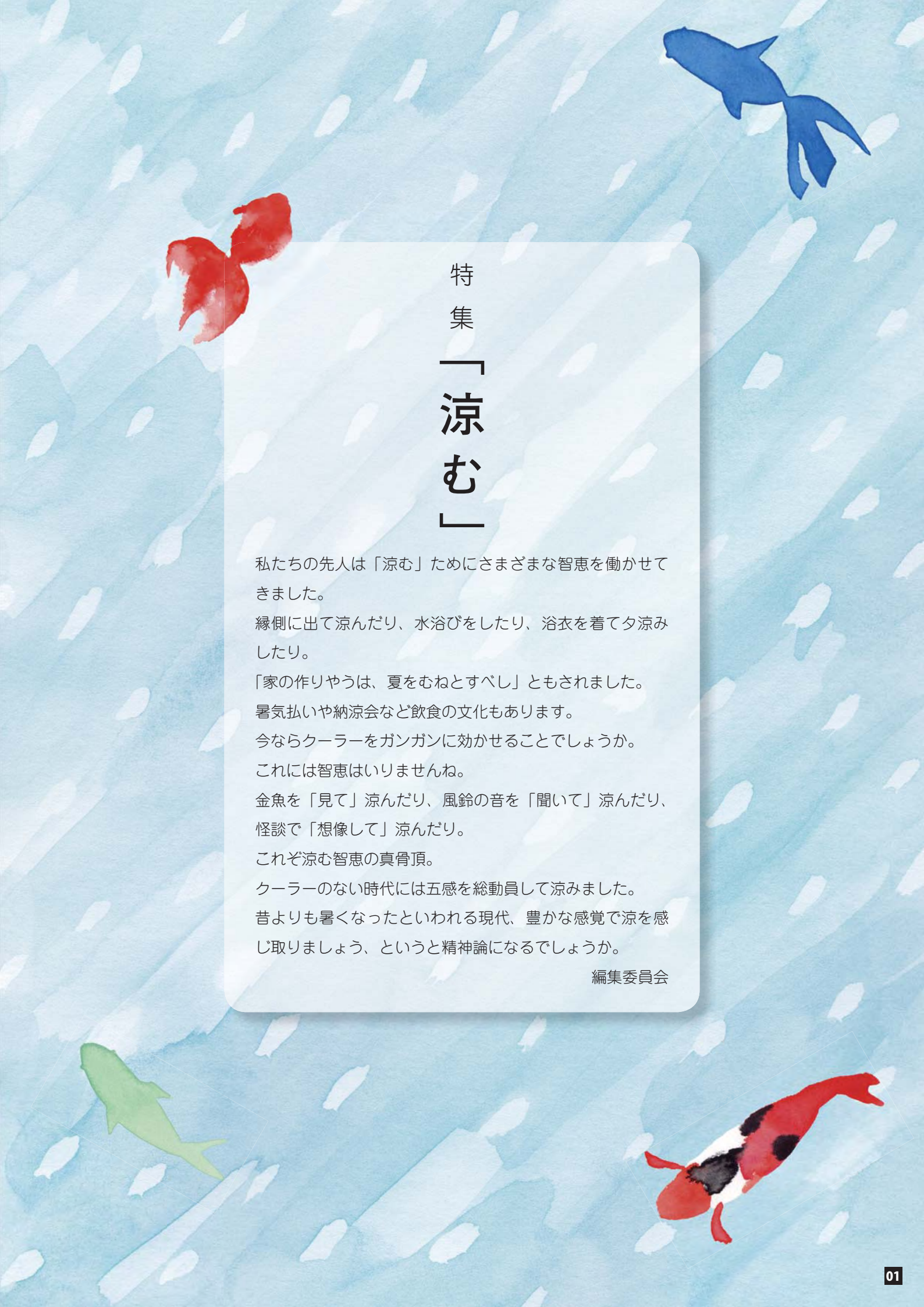
VOL.204 ISSN 2432-5295

特集「涼む」

C O N T E N T S

- ◆特集：【涼む】・・・01
 - ・京の山紫水明を体感する鴨川納涼床・・・02
 - ・ベトナムでの涼み方・・・03
 - ・環境に負荷をかけず涼やかに暮らす・・・04
- ◆今、こんな仕事しています・・・05～06
- ◆地域に寄り添って地方創生を考える・・・06
- ◆うまいもの通信・・・07～08
- ◆近況＆イベントのお知らせ・・・09～10
- ◆まちかど・・・裏表紙
 - ・「ひこにゃん旋風」あれから10年

(写真) 高千穂峡 宮崎県高千穂町
撮影：羽田拓也



特集 「涼む」

私たちの先人は「涼む」ためにさまざまな智慧を働かせてきました。

縁側に出て涼んだり、水浴びをしたり、浴衣を着て夕涼みしたり。

「家の作りやうは、夏をむねとすべし」ともされました。

暑気払いや納涼会など飲食の文化もあります。

今ならクーラーをガンガンに効かせることでしょうか。

これには智慧はいりませんね。

金魚を「見て」涼んだり、風鈴の音を「聞いて」涼んだり、怪談で「想像して」涼んだり。

これぞ涼む智慧の真骨頂。

クーラーのない時代には五感を総動員して涼みました。

昔よりも暑くなったといわれる現代、豊かな感覚で涼を感じ取りましょう、という精神論になるでしょうか。

編集委員会

京の山紫水明を体感する鴨川納涼床

水谷省三
都市・地域プランニンググループ

四条河原町から歩いて八坂神社方向に向かうと四条大橋に出ます。

この時期、橋詰付近から上下流を眺めると、鴨川のみそそぎ川沿いに鴨川納涼床が連なっている見えます。京都の夏の風物詩である納涼床は、二条大橋から五条大橋の区間約2.5キロメートルに約100軒の店舗があります。

納涼床を河川側に張り出して営業できる期間は、5月から9月の5ヶ月間に限られています。うち



夕暮れときの納涼床（7月）

5月と9月は昼間の営業も行われ、午前中から納涼床を利用することが出来ます。

鴨川納涼床の起源は、江戸期初頭まで遡ると言われています。当初は、今の高床式の納涼床とは異なり、床几を川面近くにならべる形態が主流で、裕福な商人たちが、河原での涼みを楽しんでいました。こうした納涼床の姿は、祇園祭とともに京の年中行事となり、また、鴨川の琵琶湖疏水鴨川運河など左岸の護岸改修と密接に関わりながら、京都の伝統文化に欠かさない風物詩として、京都のく



お昼ときの納涼床（5月）



木屋町通から納涼床がチラリと見えるアプローチ

しの中に定着してきました。

鴨川納涼床のいちばんの特徴は、鴨川右岸を流れるみそそぎ川の上に張り出した高床の姿と、鴨川の本流を眼下にみながら東山連峰を展望できるロケーションにあります。三条大橋より上流域では比叡山や北山も眺めることができます。

古くから東山を望む鴨川の美しい景観は、「山紫水明」と表現されます。ことに川面が暗くなり始め、東山の風景が紫色に染まる時間帯は格別で、納涼感を体感



座卓式の納涼床



テーブル席の納涼床

できる絶妙のスポットになります。納涼床は、まだ周りが明るい頃から利用することをお勧めします。

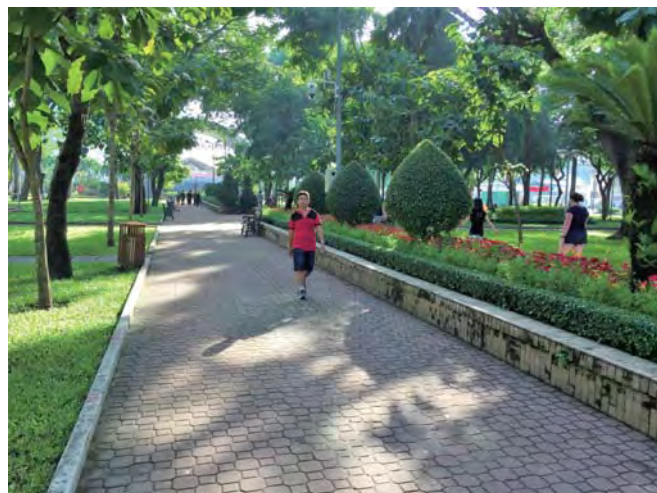
近年、納涼床を出す店舗は、京料理をはじめとし、フレンチやイタリアン、中華料理、タイ料理などの飲食店から結婚式場まで多様化しています。なかには、カフェやショットバーなどの店舗もあり、気軽に納涼床を体験できるようになってきています。また、納涼床といえば、座卓や座布団の置かれた座敷型の床が主流でしたが、店舗の多様化に伴いテーブル席が多くなってきました。掘り座卓式の床もいくつか見られます。納涼床の形は時代とともに変化し、進化していますが、暑い時期の屋外で山紫水明を体感しつつ納涼する文化は、変わりなく京の人々の間で息づいています。

ベトナムでの涼み方



堀口浩司

取締役副社長（東京事務所長兼務）



早朝のホーチミン市内

京都で一年間生活したベトナム人に言わせると、「京都の夏は最高に（最悪に）暑い」という。ホーチミン在住の人である。

私も昨年から何度かホーチミンを含む南部の諸都市を訪問したが、いずれの時期もあまり暑いという印象がない。5月初旬は日本では最も爽快な時期である。一方、バンコクやホーチミンといった東南アジアの大都市は乾期の終わりにあたり、日差しも厳しいし、日中気温も高い、彼我の温度差の激しい時期でもある。この時期を除いて、大阪より暑いという印象はあまりない。

自分なりに分析すると、日差し



魚介類を売る朝市（南部のまちハ・ティエン）

ると、第一に、朝早くから活動していること。ホーチミン市内の公園や地方都市の川沿いの公園など朝早くからウォーキングや体操、ソ

は厳しく、直射日光は「痛い」くらいである。今月（7月）中旬にベトナム南部のキエンザン省の3都市を訪問したが、大阪の淀屋橋付近ほど暑くはない。だが、いつも海風があつて、あまり湿度も高くないため、日中も結構過ごしやすい。

最大の都市であるホーチミン市ではどうか。日本から来て空港でタクシーを拾うと最初に「ホーチミン市は暑いでしょ」といわれるが、私の回答は大抵「大阪より涼しい」である。日差しはきついが樹木も多く、日陰に入るとあまり気にならない。

いくつか理由を考えてみると、生活習慣や行動様式が夏向きにできているようにも思う。列挙す



シアルダンスなど、早朝から活動をしている。そして多くの会社は8時始業である。第二に昼寝をすること。ローカル企業の昼休みは12時〜14時が一般的であり、その時間にはオフィ

スの電気を消し従業員が机に頭をつけて寝ている風景が見られる。ガンガンにクーラーの効いたオフィスで枕を並べて昼寝をしている。またそれ用の枕も売っている。そして午後は外を歩かないことである。出てもクーラーの効いた室内から室内への移動である。午後の最も暑い時間帯は歩かないことである。

第三は、夕方から残業をしないこと。日が暮れるとクーラーの効いた室内か風通しの良い屋外で生（ぬるい）ビールを片手にワイワイとやっている。本稿のテーマは涼み方であるが、要するに暑い時には無理しないという単純なことである。



緑の多い都市は涼しい。（いずれもダラット市）





環境に負荷をかけず涼やかに暮らす

～環境共生住宅「聴竹居」の魅力と我が家（賃貸）の断熱D I Y

竹内和巳

地域再生デザイングループ

地球温暖化が問題視されるようになって、もう何年も経ちました。私も子どものころと比べると冬の朝に凍った水溜りを見ることも減ったなあという実感を持っています。

■着実に高くなる気温

京都でも過去100年間で約2度の割合で平均気温が上昇しており、今後どんなに温暖化対策を行ったとしても、少なからず気温が上昇するとされています。そのようなとき、皆さんの住まいは快適に過ごすことができるでしょうか？今後も気温が高くなり続けることを考えると、住まいにおいて暑さを軽減し、「涼やか」に暮らす工夫が必要です。

今回は、様々な工夫の中から、日本初の環境共生住宅といわれる聴竹居の魅力と我が家の断熱D I Yについて紹介します。

■環境共生住宅「聴竹居」の魅力

2020年には新築住宅省エネ法適合が義務化される中で、全国画一的なモデルでなく、京都の氣候に適応した京都らしい省エネ住宅のモデルプランを、京都市の業務において作成しています。そこで参考のため、藤井厚二が設計した、日本で初めての環境共生住宅といわれる「聴竹居」（1928年竣工、京都府大山崎町）を見学

してきました。

聴竹居には、現代でも十分通用する仕組みが導入されていますが、その一つとして、建築内の通気経路の設計があります。聴竹居には、夏の暑い時期には地中で冷やされた空気を室内に取り込める導気口（クールキューブ）があります（写真1）。そして天井には、熱い空気が屋根から抜けていく仕組みが施されています。

また、縁側では、はねぎ 桔木によって可能となった水平横長の窓によ



写真2：縁側の様子
（写真提供：竹中工務店）



写真1：導気口（クールキューブ）の様子

り、外に広がる豊かな緑が美しく取り込まれています（写真2）。環境調整の役割に加えて、視覚にも涼やかな住環境が生み出されています。

現代においては、地球温暖化問題への対策として、環境負荷軽減のために高断熱高気密の省エネ住宅が促進されています。断熱性能を高めて、快適な温熱環境で生活をすることも大事なことだと思いますが、それに加えて、周囲の環境をいかした、環境とともに生きる暮らしを考えてみることもいいかもしれません。

■我が家（賃貸）の断熱D I Y

春から住んでいる新居は、新築で大通りに面する西向き住戸にもかかわらずシングルガラスが採用されており、帰宅時に感じる暑さに限界を感じていました。そこで、窓周りの温熱環境改善のためにD I Y内窓を設置することを決意しました。今回は、「中空ポリカーボネートシート」という材質を使った内窓キットを採用しました。この素材の特徴は、中空構造であり、超軽量、高強度であることに加え、同厚ガラスの約2倍の断熱効果があることです。ちなみにこのキットは、退去時に現状復帰が基本の賃貸住宅にも対応できるよう、両面テープのみで設置で

きるようになっていきます。

写真3は内窓を設置前の様子と、設置後の様子です。2人で2時間ほど作業し、設置が完了しました。設置後、赤外線放射温度計を用いて、窓の表面温度を計測したところ、18時の時点で、外窓の表面温度は33・7度、内窓の表面温度は32・2度と、差が見られました。体感としても、設置前より暑さが和らいだと感じています。

低コストを追求し、決断していい環境とはいえないことも多い賃貸住宅でこそ、住まい手が住まいに対して積極的にアプローチし、住環境の改善を行うなど、住まいを住みこなしていく必要があるのではないのでしょうか。



写真3：内窓設置前（右上）と設置後（右下、左）の様子

空き家だった八幡町家の新たな一歩が はじまります

近江八幡市 空き町家活用のモデル検討

松下藍子：

都市・地域プランニンググループ

近江八幡市にある、空き町家の
改修方法および利活用の検討の
お手伝いをしました。

今回検討した空き町家（旧吉
田邸）は、空き家になった町家
が市に寄贈されたもので、八幡
町にあります。町の一部が重要
伝統的建造物群保存地区に指定
されており、歴史的町並み及び
町家の重要性が認識されている
本市には、旧八幡町内の家屋
1828戸に対して、空き町家
は95戸存在します。

そのような状況の中で、今回
の利活用の目的は3つ。「①新
しい活用モデルを創出し、旧市
街地にある空き町家の解消を図
る」、「②空き町家の改修を進め
ることで、近江八幡市の歴史的・
文化的価値の継承を図る」、「③
利活用において、近江八幡市固
有の風土をベースとした「まち
と学び」「新しい生業」「新しい
文化」を創造し、商業・交流機
能の活性化を推進する」です。

検討の際に主な論点となった
のは、まず、歴史的
な建築物の伝統的な
形式を継承しながら、いかに現在の使
い方に合うようにす
るかということでした。今回は、町家の
特徴である格子窓や
大きな土間空間など
を継承しながら、通



除幕式



まちなかゼミ

りに面する店の間は土間にし、
トイレは主屋の中に移動するこ
とで新たな利活用の方法に合わ
せることに落ち着きました。

もう一つの論点は、移住相談
の拠点機能、大学等との連携機
能、商業・業務機能という本施
設の大きな3つの機能につい
て、その運営方法をどうするか
ということでした。多様な人・
団体が関わることになりました
が、運営主体や維持管理費の財
源を、今後も検討を続けること
になっています。

改修工事は国の補助金を活
用して実施され、平成29年4
月22日には第一段階の工事完
了と開所を記念する除幕式が
催されました。また、滋賀県
立大学や八幡商業高校等の協
力を得て、「まちなかゼミ」が
開催され、利活用の第一歩を
踏み出しました。今後、どの
ような連携・交流・魅力を発
信してくれるか、私たちも楽
しみに見守りたいと思います。

ベトナムの農業と食の販売 (マーケット) を視察してきました

原田弘之：

地域産業イノベーショングループ



5月末にベトナムに行ってきま
した。日本と比べて物価は約5
分の1、所得差はさらに大きい
ようですが、まちは若者、家族
層が非常に多く、活気に満ちて
おり、まさに高度経済成長中と
いう印象を持ちました。

農業の視察場所は、中部にあ
るフランス植民地時代に避暑地
として開発されたダラット。標
高千〜千五百メートルの高原都
市で、昼夜間の気温差も大きく
て農業に適しており、ベトナム
の国内外も含めて、この業界で
はあこがれの地とも言われてい
ます。丘陵地はビニールハウス
で覆われ、その中で菊などの花
トマト、イチゴ、葉物野菜など
が栽培されています。多くは家
族経営ですが、少数ながら法人
経営もあり、訪ねた写真の農場
は、農業生産の国際認証である
グローバルGAPを取得し、観
光客を受け入れ、収穫体験や販



売も行っていました。資本協力
はこの場合はオランダ企業で
したが、他では日本やフランス
などのケースも見られました。

一方、販売及び消費地として
ホーチミンを訪ねました。伝統
的な市場での販売も健在ですが、
近年、スーパーマーケットでの
販売が伸びてきているようです。
特に、郊外ニュータウンにはイ
オンモールなどの大規模商業施
設が増え、その中に、イオンや
オーガニックショップ、コープ
などが入っています。産地や生
産法人を限定したものやVietGap
(ベトナム版GAP) 認証の野菜
を販売しています。中産階級が
増える中で、食の安全への関心
が高まっているようです。

日本からベトナムを訪
問して肌身感じたこと
は、農業生産側も消費側
も、日本と比較して、成
長への欲求が非常に高く、
元気だということです。
今後、日本とベトナムが
Win-Winになるような仕
事を模索したいです。



「おいしさ」の正体は？ 「おいしさ」の見える化で農産物をPRしよう

渡邊美穂：
公共マネジメントグループ

全国各地で農産物・加工品のブランド化競争が加熱しており、その商品の魅力や特徴をどう打ち出すか（差別化を図るか）がポイントになっています。

商品名、価格、量、パッケージなど、各地域とも工夫を凝らした商品売り出しています。食品である以上「おいしさ」が重要です。「おいしさ」を見える化できれば、説得力、発信力を高めることができます。「おいしさ」は個人の嗜好に強く影響されますが、客観的・総合的な視点でPRできないか、トマトやさつまいもなどのブランド化支援の一貫で、（一社）おいしさの科学研究所へ調査を委託し、「おいしさ」の分析・評価に取り組みました。

「おいしさ」は「味」「食感（テクスチャー）」「におい」から構成されます。「おいしさ」の分析・評価を官能評価と機器測定により実施しました。官能評価は、味覚の評価を専門とするパネラーによる、いわゆる食べ比べです。機器測定では、「先味」という食べればすぐに感じる「甘味」「酸味」「塩味」、「後味」というじんわりと後から感じる「苦味」「うま味」、これらの含有量やバランス、さらに食感を数値化します。



※本業務は地域産業イノベーショングループ原田、武藤、片山で担当しています。

産地との違いが明らかになりました。現在、この結果を活かしたPRの方法を検討しています。日本語には「おいしさ」を表現する言葉が約120あり、外国にはこれほどの表現はないようです。食の表現がこれだけ豊かなのは、日本人の食が多彩で感覚が繊細だからではないでしょうか。数値化はわかりやすい一方で、このような感覚を単純化してしまう可能性もあると思います。数値化できないところが「隠し味」となって「おいしさ」を作っているのかもしれない。感覚的な自分なりの「おいしさ」を大切に、数値によるわかりやすさとのいい塩梅で、これからも商品のブランド化に取り組みでいきます。

その22 地域に寄り添って地方創生を考える

リゾートと第1次産業で発展する恩納村

※詳細は、弊社ホームページに掲載しています。(http://www.arpak.co.jp/newsletter/204/ 8.html)



森脇宏：
代表取締役社長

今号では、通常の企業誘致による人口増加ではないタイプの市町村として、沖縄県の恩納村（おんなそん）を対象とし、考察を深めます。

■人口増加で流入超過の恩納村

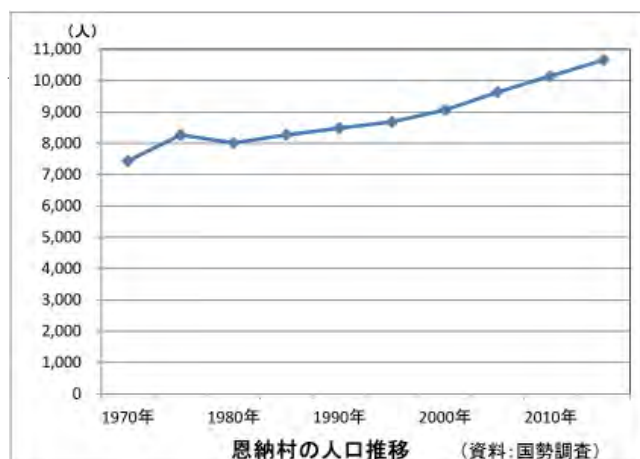
恩納村の人口推移を下図にみると、1980年以降、増加傾向が続いています。

また、国勢調査で通勤通学流出をみると、恩納村から村外へ流出する就業者・通学者数の2倍の方が、村外から恩納村に流入し、昼夜間人口比率も120パーセントと極めて高くなっています。

■リゾートと第1次産業が牽引

恩納村で従業する就業者数から特化係数（対沖縄県）を求めると、「宿泊業、飲食サービス業」「漁業」「生活関連サービス業、娯楽業」「農業、林業」の順に高く、リゾート産業と第1次産業が牽引していることがわかります。

リゾート産業は、1975年の沖縄国際海洋博覧会を契機とするリゾートホテルの立地等が、重要な役割を果たしています。一方、第1次産業の特化係数が高いのは、リゾートと上手く連携して、発展して



いるためです。

■リゾートと第1次産業の連携
当初はリゾートホテルと漁業との軋轢があり、1985年には、漁業者による海上デモも敢行されています。

そこで、行政・リゾートホテル・漁協等の利害関係者による「海面利用調整協議会」が設置され（1986年）、リゾートホテルによる漁業振興基金の拠出や、地産地消、伝統的な海面利用ルールの尊重などが確認されました。

こうした連携が、恩納村経済の地域内循環や、リゾート環境の保全に貢献しているようです。



御食国若狭の
くずまんじゅう

編集委員が
各地の涼し
いうまいも
のを見つけ
てきました



毎年、夏になると京都から若狭街道をぬけ、小浜までくずまんじゅうを買いに行きます。別名鯖街道といわれる若狭街道は、鯖寿司や焼き鯖で有名ですが、うまいもんは鯖だけではありません。初夏になるとくずまんじゅうが、和菓子屋の店頭に並びます。水槽に浮かぶ涼しげなくずまんじゅうは、若狭地方の夏の風物詩の一つといえます。



私のお薦めの伊勢屋（創業天保元年）のくずまんじゅうは、あつさりしたこしあんで何個でも食べることが出来ます。生産や水槽に使われる水は、地下約30メートルからくみ上げられているわき水「雲城水」（平成の名水百選）で、まろやかな水がおいしさを引き立てます。また、保存料が使用されていないので消費期限が当日限りなのも貴重なひと品です。お店で食べることもできるので、週末ともなるときょうさんのお客さんで賑わいます。

さて、葛といえば、関西では吉野葛が有名ですが、若狭地方の熊川も古くから本葛の産地です。熊川葛は現在、製造技術が地元の熊川葛振興会で伝えられるのみで、生産量がわずかなため貴重な葛となっています。街道沿いの宿場町「熊川宿」（重要伝統的建造物群保存地区）でも、くずまんじゅうやくずきりを食べることが出来ます。暑い夏に涼を求めに、皆さんも若狭の国に足を運んでみませんか。（中村孝子）

伊勢屋 福井県小浜市一番町1の6
若狭鯖街道熊川宿ホームページ
<http://kumagawa-juku.com/>



南アルプス天然氷の
宇治金時



夏の時期にかき氷を食べるのはポリビュラーな涼の取り方の一つでしょう。昔ながらの夏の風物詩として代表的なものであり、夏祭りや夏フェスなど、どこかのイベント会場でもかき氷屋さんを探すことは簡単です。しかし、ここでご紹介するのは天然氷をつかった一味違うかき氷です。

天然氷というのは、天然、つまり地球の寒さによつて凍らせた氷のことです。といっても、氷山から切り出してくるようなものではなく、伝統技術によりじっくりと時間をかけて手作業でつくられ、夏になるまで氷室で保存されていた氷です。ゆっくりと凍らせることで不純物を含まない、非常に透明度の高い氷が出来上がるそうです。



天然氷のかき氷が食べられるお店はたくさんありますが、今回は東京北区の十条にある、だるまや餅菓子店で宇治金時をいただきました。天然氷のかき氷を食べるのは初めての体験でした。見た目からして存在感のあるかき氷なのですが、一口食べると普通のかき氷との違いはすぐにわかります。何と表現すれば良いのでしょうか、ふわふわとした感じで、口の中ですうっと溶けていきます。頭も痛くなりません。

このかき氷には、南アルプス・八ヶ岳の麓にある蔵元八義（やつよし）が、名水百選に選定されている「八ヶ岳南麓高原湧水群」の水を凍らせてつくった天然氷が使われています。八義は全国に七つしかない天然氷の蔵元の一つで、2015年から出荷が始まった新しい蔵元です。伝統技術でつくられた天然氷のかき氷、少し大げさかもしれませんが、食べてみるとかき氷の概念がくつがえりますよ。（坂井信行）

だるまや餅菓子店 東京都北区十条仲原1の3の6

貴船の川床 流しそうめん



盛 夏の折、京都はどこも暑苦しく、外に出るのもおっくうです。そんな時のおすすめが、京都随一の避暑地である貴船の川床で食べる流しそうめんです。

貴船は京都の避暑地だけあって、たどり着くには少し時間を要します。まず京阪電車の終点、出町柳駅。鴨川の横にあつて一見涼しげですが、そんなことはなく、うだるような京都の猛暑の洗礼を受けます。叡山電車に乗り換え、おおよそ30分で貴船駅です。電車を降りると少しひんやりとした空気に包まれ、先ほどの暑さを忘れてしまいます。バスに乗り換え、5分で貴船神社です。周囲には川床の店がいくつも並び、その一つが今回の目的地「料理旅館ひろ文」です。

待つこと30分、ようやく順番が回ってきました。正面に滝を見据えたロケーションはそれだけで涼しげで、お客さんにも好評です。京都の暑さから逃げてき

たのか、外国人も多く見られます。その後、決められたレーン以外のそうめんは取らない、などのルールを聞き、ようやく流しそうめんが始まります。

そうめんの流れは予想より速く、気を緩めると取り損ねそうになります。この絶妙のスピードも人気の一因でしょう。取り損ねて悔しがる声が、左右の席から聞こえます。15分くらいでピンクのそうめんが流れてきたら終了です。帰りは貴船神社にも寄り、ちよつとした小旅行気分です。

本格的な川床料理に比べて手軽な流しそうめんは、週末には数時間待ちになることもあるとか。それも手軽に避暑を楽しみたい京都人と観光客に待ち望まれているが故のこと。少々の待ち時間も避暑の一環と考え、楽しく過ごすのが良さそうです。(長沢弘樹)

京都貴船 料理旅館ひろ文 京都市左京区鞍馬貴船町



地域の物語が見える クラフトビール



炭木市では地ビールの代わりに地域のお米で造られた地酒（中尾酒造）を楽しみました。

暑 夏。冷えたビールをグビッと飲むのが美味しい季節ですね。

1994年の酒税法改正によって全国各地に地ビール会社が生じました。その後、一時期下火になりブルワリーも減少していましたが、2012年頃から「クラフトビール」という呼び方が定着して再びブームになっています。現在、巻き起こっているクラフトビールブームには、いくつかの要因があるようです。

一つには、一定の生産量を確保したブルワリーが大型店などにも商品を置くようになり、クラフトビールがより消費者の身近なものになってきていること（「よなよなエール」で知られるヤッホーブルーイングなど）。もう一つは、第1次ブームが去った後、生き残ったブルワリーの醸造技術がレベルアップし、「高い割に美味しくない」というマイナスイメージが払拭されたこと。さらに、大量生産の「のどごし重視」のビールに飽き足らない消費者が、自分好み

のビールを選択する志向が高まつてきたことなどがあげられます。

私達も、お仕事をさせていただく機会のできた地域において生産されている地ビールを購入し、その業務に参画するメンバーで楽しむことにしています。これまでに伊丹市の小西酒造で生産されている「OSAKA BAY BLUES」（苦味は少なく、程よい甘みと柑橘的な風味）や、倉敷市の真備竹林麦酒醸造所で生産されている「ささ」（フルーティーですっきりさわやかな味わい）などを楽しみました。それぞれのビールに独特の味わいがあり、ビールを飲むことによってその地域の個性に思いを寄せることが出来るように思います。特に倉敷市の「ささ」は精神障害者の方の支援を行っているNPO法人岡山マイノリティ「こころ」が醸造所を運営し、地ビールづくりがまちの人たちの生活を支えています。「ささ」を飲むことで地域の人達を応援することができるのです。

クラフトビールを飲んで味わいを楽しむとともに、その土地で生産される「麦」や「水」、醸造に関わる「人」など、ビールの泡の向こうに見える様々な物語を楽しんでみてください。(嶋崎雅嘉)

小西酒造 兵庫県伊丹市東有岡2の13
<http://www.konishi.co.jp/>
 真備竹林麦酒醸造所 岡山県倉敷市真備町箭田1679の2
<http://mindkokoro.web.fc2.com/beernabi.html>
 中尾酒造 茨木市宿久庄5の32の12
<https://www.facebook.com/mishimaomachi/>

太秦をオシャレでエッジのたった街に 「太秦 light 商會」

戸田幸典

地域再生デザイングループ

私が住む右京区太秦で、地元の飲食店主を中心に不動産屋、ライターなどが集う、1月に立ち上がった「太秦 light 商會」。私も会のメンバーとして活動しています。5月6日に実施したマーケットイベント「food,goods,market 太秦 light 商會」は500人を越える来場者で、大盛況！その後5日間開催した、参加店が



限定商品を提供するお買い物・食べまわり企画「太秦 light loop」も賑わいました。

商會の特長は、①限定商品（新商品）をイベントで必ず販売することをルールとした常に変わり続ける姿勢。②一過性のイベントでなく、店のファンをつくり、つなぐことを意識した企画。③運営・企画資金は補助金でなく、自らの取組での稼ぎをあてる。つまり、誘客、売上貢献、活動資金調達、小さな商いを地元で応援する。これらを1つのイベントで形にしつつ、まちの賑わいを生みだそうとしていることにあります。

次回イベントは、8月下旬、10月に予定しています。詳しくは以下のサイトをご覧ください。



太秦 light 商會

<https://www.facebook.com/uzumalightshokai/>

学研都市 37 年～新しい都市づくりの主体

三輪泰司

名誉会長

4月20日、午後2時から、けいはんなプラザにおいて、「けいはんな学研都市新たな都市創造会議」第1回総会が開催されました。この日は「学研アーカイブ」の作業日で、後藤邦夫先生と資料整理に大わらわでした。文献から重要な問題が浮かび上がってきました。

学研 37 年とは 地域活動の“火花”

今年は「学研都市 30 年」ということで、去る3月9日、大阪のグランフロントで記念シンポジウムが開催されました。1987年9月の建設促進法施行から数えると30年ですが、「奥田懇」設立の1979年9月からは38年です。「重要な」というのは、地域の視座での“火花”は1980年9月21日です。37年前なのです。

創立5年の山城青年会議所が主催した「明るい豊かな地域づくりと関西学術研究都市構想・シンポジウム」です。「住民参加」のはじまりです。南山城を“ふるさと”とするバイタリティあふれる若者たちが立ち上がったのです。ニュートラルな立場の青年会議所主催でしたので、地元自治体は総上げで参加しました。爆発的に動き出しました。火花が「炎」となったのです。青年会議所は5年後、創立10周年にも行っています。

住民の地域活動 都市づくりの内発力

作業の行き帰り、学研都市を歩き回りました。研究施設は現在約130。続々と建って、用地が足りなくなっています。精華台の住宅地では僅かに残った区画で地鎮祭をやっていました。光台のグルメのお店がにぎわっていました。南稲八妻など旧集落にあってここにはないのは社寺・墓地・お祭。

「新たな都市創造プラン」は、文化・学術研究の振興、

イノベーション推進とともに都市形成の観点を加えて十数項目の指標で、相互評価しつつ都市としての発展を目指しています。目標は、サイエンス&カルチャー・パークでしょうか。

地域の定住人口約25万という中核市なみです。30余年、ここを生まれ故郷とする新世代が育っています。「外」からの投資を受け止め「内発」を主とするポイントに立っているというべきでしょう。

府県を超える高次広域計画・行政と交通事業者の協議体があるのでしょうか。東北の復興でもそうですが、「商店街」は、地域を牽引する担い手です。

キーパーソン 新たな都市創造のリーダー

震災復興でも、必ず、そこにはキーパーソンがいます。けいはんな学研都市は、統率力のあるりっぱなキーパーソンに恵まれています。山城青年会議所は市長・町長を輩出し、5周年シンポを主宰した坂本克也さんは、33年後、国際ロータリーの地区ガバナーを勤めました。いま、けいはんな学研都市のキーパーソン・ナンバーワンは、アルパックの杉原五郎会長でしょう。学位保持者で都市計画の技術士。都市計画コンサルタント協会理事、京都商工会議所議員・関西学研都市特別委員長、大阪中小企業家同友会副代表理事という社会的ポジション。なにより、地元木津川市の30年来の市民です。

30周年記念シンポの時、ミルクコーヒーを飲みながら、OBの霜田さんと語りました。「われわれはでかいことやったのだなあ。でもしょせんはよそもの。次の世代はすごい。ふるさとのために、主人公になって都市づくりに熱中しているのだなあ」と。

近況 & イベントのお知らせ

奥河内くろまろの郷が道の駅になりました

鮎子田稔理：建築プランニング・デザイングループ

奥河内くろまろの郷が、国土交通省の「道の駅」第47回登録で、大阪府下では10番目の道の駅として登録されました。



当日開催されたくろまろ縁日



レンタサイクルも始まりました

5月27日にはオープニングイベントが開催され、記念式典

とともに、くろまろ縁日など各種イベントが開催され、道の駅記念切符や地元産品を求めて多くの人が訪れました。今後は道の駅だけではなく、近隣の「花の文化園」や「木根館」、「体験農園」など、家族やグループで1日楽しめるエリアとしてますます充実していくことでしょう。

奥河内くろまろの郷ホームページ

<http://kuromaro.com/>



子育てしながら頑張ってます！

岡崎まり：地域再生デザイングループ

依藤光代：都市・地域プランニンググループ

昨年末に第一子を出産し、この度、職場復帰致しました。今後ともよろしくお願いします。

最近、妊娠・出産に関する話題でよく耳にするのは無痛分娩に関してでしょうか。2017年4月に厚生労働省が無痛分娩に関して緊急提言を行いました。急変時に対応できる十分な体制を整えた上で無痛分娩を実施するよう医療機関に求めるものです。その後、無痛分娩の件数や事故状況等に関する実態調査を行うと発表がありました。今回の出産で私は無痛分娩を選択したので、様々な報道や調査結果について非常に興味をもって見てきました。

これまで日本での無痛分娩に関する調査は2007年から行われておらず、その時点では全分娩の2.6%でした。アメリカでは2008年時点で61%、フランスでは2010年時点で80%なので、それらと比較して非常に低い割合であったことがわかります。

今回の調査の中間報告によると、2016年度は全分

娩の5.2%であったことが判明し、2007年の調査から倍増していることがわかりました。それと同時に、行われた無痛分娩の6割が診療所での対応であり、日本では小規模な医療機関でより実施が広がっていることがみえてきました。

今後、今回の結果をもとに安全対策が進められることになるとと思いますが、今回の出産で無痛分娩のメリットも多く感じた一人として、緊急提言や調査結果、報道等により妊婦にとっての選択肢の幅が狭まることなく、それぞれのメリット・デメリットを認識して個人個人が安心して出産の方法を選択できる環境が整ってほしいと思います。(岡崎)

第二子出産のため、6月から産休・育休をいただくことになりました。平成30年の春に職場復帰をする予定です。今後ともどうぞよろしくお願いします。(依藤)

計画行政学会研究大会

「グローバル化の進展に伴う人と物の流れから関西の近未来を考える」が開催されました

丸井和彦：

公共マネジメントグループ

6月24日、「グローバル化の進展に伴う人と物の流れから関西の近未来を考える」というテーマで、アルパックが事務局をしている（一社）日本計画行政学会関西支部の支部大会が開かれました。

テーマとはややずれますが、今年度入社の私も「福島第一原発における避難指示区域外の精神的損害額の推計」というタイトルで、大学の卒業論文を発表しました。女性と男性のストレスの違い、福島の避難者のために関西から何ができるかなど、多方面で活躍され

ている皆様から意見をいただき、吸収することが多い発表となりました。

研究報告の後は、基調講演とパネルディスカッションが行われました。インバウンドが盛んな昨今、関西空港の将来像や訪日観光客のニーズはどうなるのか、AIの時代と言われている中で今後のライフスタイルと物流の見通しといったトピックを中心に、3名の事例報告者がパネリストとして登壇され、活発な意見交換が行われました。



「ひこにゃん旋風」あれから10年

水野巧基：
地域産業イノベーショングループ



彦根城に登場するひこにゃん

2007年に「国宝・彦根城築城400年祭」のイメージキャラクターとして、ひこにゃんが登場してから10年が経過しました。彦根市では、今年のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送を記念し、「国宝・彦根城築城410年祭」が開催されています。ひこにゃんと彦根城で再び盛り上がる彦根市を散策しました。

彦根城周辺では、ひこにゃんのデザインがラッピングされたレトロなボンネットバスが巡回しています。彦根城築城400年祭イメージソング「ひこにゃん音頭」が流れ、彦根城内では毎日3回ひこにゃんが登場し、多くの観光客が一斉にカメラ撮影を行います。いまなお色褪せないひこにゃん人気に圧

倒されました。

一方で、昨年末に、「国宝・彦根城築城410年祭」のプロモーションムービー『彦根に集え!』が公開されています。ムービーの舞台は、築城410年祭に向けて新しいシンボルを産みだそうと活気立つ彦根城です。人気ラッパが殿様や家臣達を演じ、国宝の彦根城天守や歴史ある能舞台で、歌と踊りで愉快なパフォーマンスが繰り広げられています。アニメーションを多用した映像や、近年のラップブームの影響もあり、若者を中心に話題となっています。

築城410年祭の推進委員会では、「国宝・彦根城築城410年祭」の一環として、2017年9月23日から12月10日まで、彦根城を舞台に日本で初めて国宝で開催する現代アートフェス「HIKONE ART CASTLE 2017(通称: HAC)」を企画しています。そのコンテンツの1つとして、9月23日〜10月1日に開催される全国の学生を対象にした彦根市滞在型学生アートプログラム「HIKONE STUDENT ART AWARD 2017」が開催予

定であるなど、アートを活用した取組にも力を入れています。

築城410年祭のイベントは他にも、開国記念館にて「大河ドラマに見る井伊家」と題した特別展示会の開催や、彦根城西の丸三重櫓彦にて「プレイバック城下町彦根シアター」を開催し、彦根城築城の歴史についてVR(バーチャルリアリティ)を用いた映像作品を上映するなど、ひこにゃんに頼らない新たな魅力創出に向けた取組がなされていました。彦根市の観光客誘致に向けた新たな取組を楽しみに、今後の動向を見ていきたいものです。

国宝・彦根城築城410年祭公式サイト <http://hikone-410th.com/>



キャッスルロード



ひこにゃんラッピングバス

「レターズアルパック」は、ホームページからもご覧いただけます。



アルパック (株) 地域計画建築研究所

Architects Regional Planners & Associates・Kyoto
<http://www.arpak.co.jp> E-mail: info@arpak.co.jp

本社・

京都事務所 〒600-8007 京都市下京区四條通り高倉西入立売西町82 TEL(075)221-5132 FAX(075)256-1764

大阪事務所 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7日本生命今橋ビル10F TEL(06)6205-3600 FAX(06)6205-3601

名古屋事務所 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-24名古屋第一ビル6F TEL(052)202-1411 FAX(052)220-3760

東京事務所 〒102-0074 東京都千代田区九段南3-5-11スクエア九段ビル1F TEL(03)3288-0240 FAX(03)3288-0221

九州事務所 〒810-0802 (株)よかネット:福岡市博多区中洲中島町3-8福岡パールビル8F TEL(092)283-2121 FAX(092)283-2128



この用紙は「びわ湖の森を元気にする」
Kikitoペーパーを使用しています。